Education first !!

久留米大学医学部 医学教育研究センター

Center for the Study of Medical Education (CSME)

久留米大学医学部医学教育研究センター　ニュースレター　第２７号　2018 年 3月発行

第112回医師国家試験

第112回医師国家試験が2月10日、11日の2日間で行われました。受験生の皆様、お疲れ様でした。これまでの500問（3日間）から400問（2日間）になり、1日あたりの問題数は増えています。必修問題はこれまで同様に、80%が合格の絶対基準になっていますが、今年の必修問題は例年と比べると素直な問題が多いように感じました。問題の細かい評価はこれからになると思いますが、知識だけでは解けない問題、知識を問う場合には、「深い」知識を必要とする問題、様々な角度からの問題が増えたというのが全体的な総評として挙げられると思います。新しい国試に対応するためには低学年から高学年まで一貫して「考える力」を鍛える必要があります。知識だけでは今後の国試には対応できません。

医学教育研究センターを楽しむためのヒント

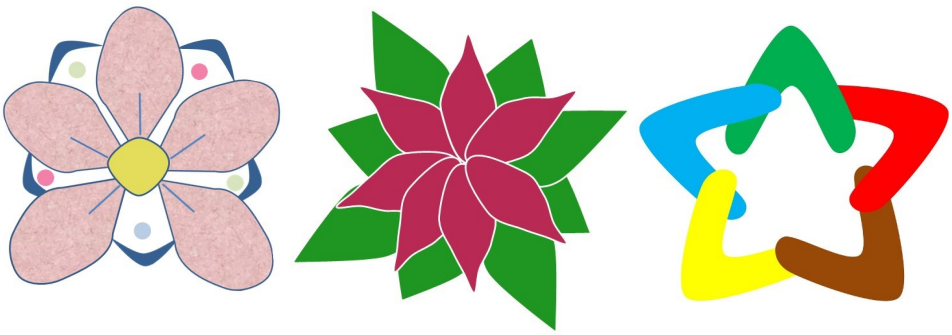
以下の文章を読んで問いに答えなさい。

文：この ぶしょんうは ぜんぶ ひがらなで かいてりあますが よまめすよね。でも しっかり よでみんて くさだい。

Q: ほとんうに よまめしたか？よためと すれば なぜ よるめの でしうょか？

医学教育研究センターは教育一号館の６階にあります（旧医学教育学）。大学生活に関すること、学業に関すること、留学やボランティア、部活に関すること。大学に関する悩みがあれば、どんなことでも相談に乗ります。いつでもお越しください。「手薬煉を引いて」お待ちしています。

- スタッフ一同



CSMEロゴ作品より

今号の特集

- 今月の教員の声
- 今月の医学時事
- CSMEロゴ作品

今月の教員の声

「神代先生最終講義」

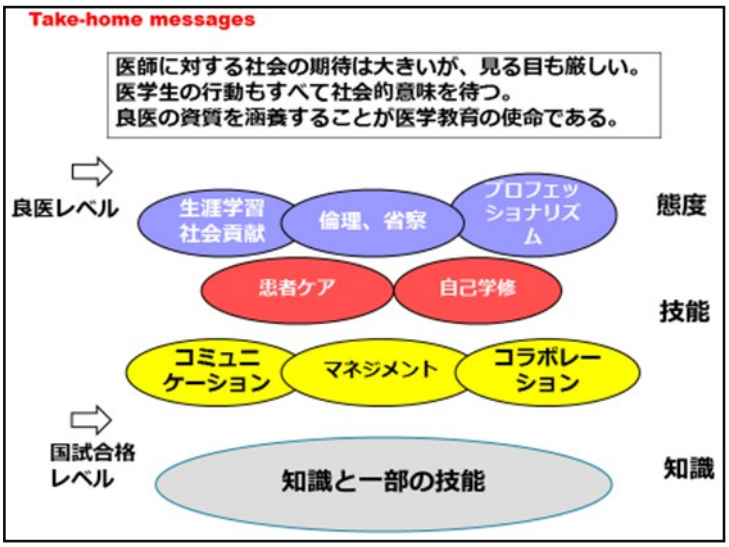
神代龍吉教授の最終講義「Education First!」が、平成30年1月30日に行われました。神代教授は1979年に久留米大学を卒業後、第二内科に入局と同時に助手になられ、1983年に大学院医学研究科を修了し、劇症肝炎の臨床と研究に従事されました。1994年に講師、2000年に准教授に昇任、2007年に医学教育学の教授に就任され、2015年から3年間は医学教育研究センター長を務められ、医師としての39年間を久留米大学一筋で奉職されました。

最終講義では、前半は若いころに先輩から教わったことを当時の写真とともにユーモアを交えて語られ、後半は富士研(医学教育者のためのワークショップ)の経験、医学教育学会の委員会活動、日本の医学教育の潮流を紹介され、最後は医学教育モデル・コア・コンピテンシーを示して「良医の資質を涵養することが医学教育の使命である」という熱いメッセージを残されました。ご来席くださった180名の教職員と学生に厚くお礼申し上げます。

文責　安達洋祐

医学教育研究センター

https://csme.kurume-u.ac.jp



医学時事

「新型出生前診断、研究から一般診療へ　日産婦が決定」

妊婦の血液から胎児の染色体異常を調べる新型出生前診断について、日本産科婦人科学会(日産婦)は3日、臨床研究としての実施を終了し、一般診療として認めることを理事会で決めた。実施施設を認定する日本医学会と協議し、終了時期などを今後、検討する。

主な理由は、①遺伝カウンセリング体制が整った、②カウンセリングの必要性が妊婦に理解された、③施設数が足りず検査を受けたい妊婦の需要に応えられていない、などで、研究計画書の作成や倫理委員会の手続きが必要な臨

朝日新聞DIGITAL

https://www.asahi.com/articles/DA3S13386718.html

https://www.asahi.com/articles/ASJ9W6HXFJ9WUBQU00N.html

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20130425-OYTEW51926/

朝日新聞 –出生前診断-

http://www.asahi.com/topics/word/%E5%87%BA%E7%94%9F%E5%89%8D%E8%A8%BA%E6%96%AD.html

床研究を終了させ、より多くの病院が実施しやすい一般診療に移行することを決めた。一方、対象を原則35歳以上の妊婦とすることや、ダウン症など3種類の染色体疾患に限定することは、当面維持する方針。

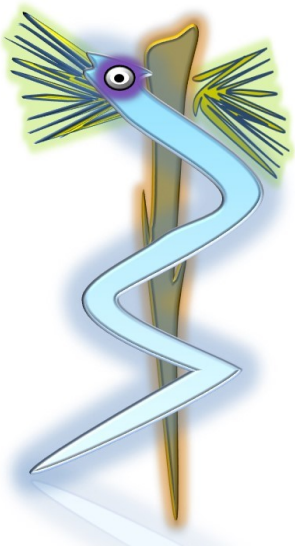
2018年3月4日　朝日新聞

5年前に日産婦の倫理委員会が決定した「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査に関する指針」では、新型出生前検査の問題点として、①妊婦が十分な認識を持たずに検査が行われる可能性がある、②検査結果の意義について妊婦が誤解する可能性がある、③胎児の疾患の発見を目的としたマススクリーニング検査として行われる可能性がある、を挙げており、十分な遺伝カウンセリングの提供が可能な限られた施設で限定的に行うことにとどめるべきとしていた。なお、3種類の染色体疾患とは、13番・18番・21番染色体の数的異常のことであり、21トリソミーはDown症候群(知的障害や心奇形)、18トリソミーはEdwards症候群(低体重や心奇形)、13トリソミーはPatau症候群(口蓋裂や脳奇形)。

文責：安達洋祐

医学教育研究センターのニュースレターに記事を投稿したいと言う方は、是非ご連絡をください。教員、学生問いません。教育に関する事、学校生活に関すること、ボランティア活動に関する事、大学に対する要望など、受け付けております。

医学教育研究センター

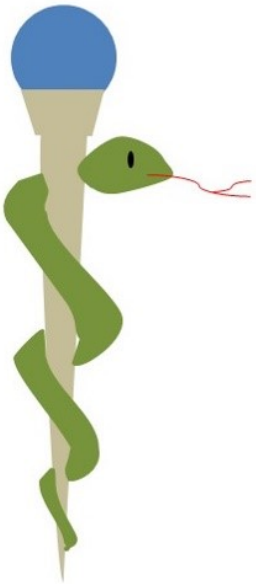


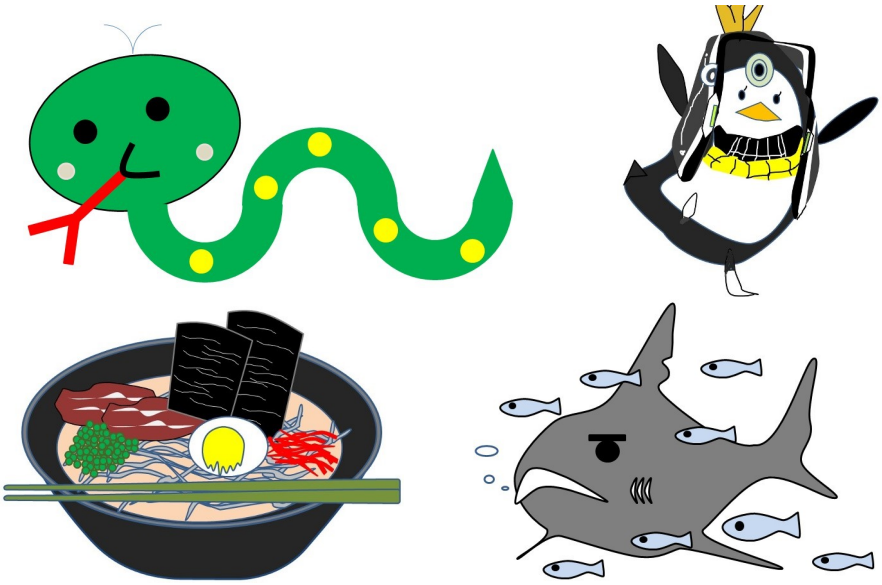
CSME ロゴ ノミネート作品

医学部医学科１年

アカデミックリテラシーの講義内で作成したCSMEのロゴ

例年、アカデミックリテラシー（１年生）のひとコマで、１年生に対して医学教育研究センター（CSME）のロゴを作成するというテーマを課して、各人にオリジナルのCSMEテーマを作成しています（完全オリジナルの他、現在のCSMEのロゴを題材に自分なりのアレンジでも可としています）。プレゼンなどで多用する「ベクトル形式の作図を行えるようになること」を目標としていますが、手の込んだ作品（カリキュラムの関係上、実質の作成時間は30分程度しかないにも関わらず）が毎年あります。一部を紹介させていただきます。

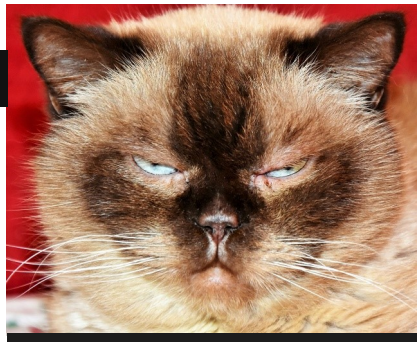




医学教育研究センターは最先端の技術で学生と教員を繋げます。

編集スタッフより

　こんにちは。編集担当の柏木です。第２７号です。これが よるめなんて にげんんの のうは ほんうとに ふしぎ でよすね。英語を常に読んでいる人であれば、英語の単語でも同じように読めてしまいます。短い単語で、単語の最初と最後があっていれば、途中は順序がばらばらでも経験によって頭の中で瞬時に再構築できてしまうそうです。



今月のニャンコ（むすー：Pixabay）

お問い合わせ先

当ニュースレターついてお気軽にお問い合わせください。 記事も募集しています。

久留米大学医学部 医学教育研究センター　編集担当：柏木　孝仁
〒830-0011 福岡県 久留米市旭町67 TEL: 0942-31-7764 FAX: 0942-31-7765
https://csme.kurume-u.ac.jp　E-MAIL: csme@med.kurume-u.ac.jp